

平成30年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 平成30年 4月17日 (火)

2 調査対象 第6学年児童11名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査 (国語A、国語B 算数A、算数B 理科)

Aは主として「知識」に関する問題、Bは主として「活用 (知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力)」に関する問題です。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語A (主として知識に関する問題)、国語B (主として活用に関する問題) は、ともにおおむね全国平均と同程度でした。
算数A (主として知識に関する問題)、算数B (主として活用に関する問題) は、ともにおおむね全国平均と同程度でした。
理科は、おおむね全国平均と同程度でした。

(2) 児童質問紙調査

成果が見られた項目

- 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか
- 理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか

課題が見られた項目

- 自分には、よいところがあると思いますか
- 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

5 学力向上の取り組み

今回の調査結果では「算数A：主として知識」に関する問題に課題が見られましたので、次の2点について重点的に取り組んでいきます。

- ・「わかる・できる」が実感できる授業の実施 (特に算数の知識に関する授業)
- ・すべての教科の授業で児童が自分の考えをもとに、学び合いの場を多く設定

6 保護者・地域の皆様へ

児童の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

○家庭学習について

- ・家庭学習の習慣化のための時間の確保

○子どもとの関わりについて

- ・家庭で子どもと会話する時間作り

○地域行事等への参加について

- ・地域の方々との触れ合いとボランティア活動への参加

